

第
25
回

「地域を活かす 科学技術政策研修会」の お知らせ

JAREC
Japan
Association for
Advancement of
Research Cooperation

宮崎県の

フードビジネスに学ぶ

平成
30年

1/24 水

1/26 金

我が国の1次産業のイノベーションには、各地域において1次産業の分野での生産技術の革新と同時に、加工や流通・販売まで含めた6次化としての付加価値化、更には、ニーズに対応したグローバルな事業展開が求められています。今回の研修では、先進的に“フードビジネス”を推進している宮崎県の協力を得て、農林水産分野のイノベーションに着眼した研修を企画しました。

自治体や大学等の関係者にご参加頂きたく、ご案内致します。

1/24

水

- ◆宮崎県のフードビジネス戦略
- ◆内閣官房、文部科学省、経済産業省、農林水産省、(国研)科学技術振興機構の平成30年度施策(調整中)

1/25

木

- ◆宮崎県総合農業試験場の技術開発現況視察
- ◆宮崎県の科学技術振興・フードビジネス展開事例

1/26

金

- ◆JA フーズみやざき加工工場視察
- ◆綾自然蔵見学館・綾酒泉の杜

参加
対象者

- ◆地域の商工・農林水産関連行政担当者、公設試験研究機関の職員、財団等の職員
- ◆農業関係団体、商工会議所等の関係者
- ◆技術開発に熱心な地域の企業などの関係者
- ◆地域連携・産学連携に関心のある大学等の関係者

参加費

無 料 (交流会・食事代を除く)

会場

宮崎駅前 KITEN ビルコンベンションホール
(1月24日、25日午後)

場所 〒880-0811 宮崎県宮崎市錦町1番10号KITENビル8階
☎ 0985-78-5810

主催

公益財団法人 全日本地域研究交流協会

共催

宮崎県、国立研究開発法人 科学技術振興機構 (予定)

後援

国立大学法人 宮崎大学 (予定)



❖❖ プログラム (案) ❖❖

(敬称略)

平成 30 年 1 月 24 日 (水) (第 1 日)

【開 会】(13:00 ~ 13:20)

I 【基調講演】(13:20 ~ 14:20)

会場 宮崎駅前 KITEN ビル

「宮崎県のフードビジネス戦略」

宮崎県参事兼総合政策部 次長 (政策推進担当) 井手 義哉

宮崎県で推進している“フードビジネス”の戦略とその実践状況を理解する場とする。

特に、宮崎県の豊富な農林水産物という強みを生かして、食関連産業の成長産業化を目指し、生産者の所得向上や高付加価値化の推進に向けた取組について紹介する。

II 【国の支援制度】(14:30 ~ 17:55)

会場 宮崎駅前 KITEN ビル

平成 30 年度の内閣官房、文部科学省、経済産業省、農林水産省及び JST の地域の科学技術・産業振興や地方創生に関わる制度設計の状況をご説明頂き、一括して、関係省庁の次年度の予算措置とその狙いを理解する場とする。

《平成 30 年度 科学技術政策・産業振興政策・地方創生について・各 40 分》

① 内閣官房 (14:30 ~ 15:10)

「地方創生に向けた国の取組 (大学による取組)」(仮)
文部科学省 大臣官房審議官 (高等教育局)
内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局

② 文部科学省 (15:10 ~ 15:50)

「平成 30 年度 文部科学省の地域科学技術政策概要について」(仮)
科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課

③ 経済産業省 (15:50 ~ 16:30)

「平成 30 年度 経済産業省の地域産業政策概要について」(仮)
地域経済産業グループ 地域企業高度化推進課

④ 農林水産省 (16:35 ~ 17:15)

「平成 30 年度 農林水産省の産学連携について」(仮)
農林水産技術会議事務局 研究推進課

⑤ 国立研究開発法人科学技術振興機構 (17:15 ~ 17:55)

「平成 30 年度 JST 産学官連携事業の概要について」
産学連携展開部 部長 金子 博之

【交流・懇談会】(18:00 ~ 19:30) (会費: @3,000 円)

平成 30 年 1 月 25 日 (木) (第 2 日)

III 【現地ワークショップ ①】

会場 宮崎県総合農業試験場

“宮崎県総合農業試験場”にて、「現地ワークショップ」を行う。

8:15 宮崎駅前集合

8:15 ~ 9:00 バス移動 (宮崎駅前→宮崎県総合農業試験場)

9:00 ~ 11:00 宮崎県総合農業試験場の視察

- ICT やロボットを活用した省力・低コスト化
- ナレッジマネジメントによる篤農家の技術伝承
- 産学連携による残留農薬分析装置の開発
- 機能性成分分析の高度迅速化技術の開発
- メタボロミクスを活用した品質評価技術の開発 等

11:00 ~ 11:30 バス移動

(宮崎県総合農業試験場→宮崎駅前 KITEN ビル)

11:30 ~ 13:00 昼食 (自己負担 1,000 円)

IV 【地域の科学技術振興に関する事例】(13:00 ~ 16:00)

会場 宮崎駅前 KITEN ビル

① 宮崎キャビアのブランド戦略

～宮崎のキラークンテンツをめざして～

ジャパンキャビア(株) 代表取締役 坂元 基雄

② 産学官連携研究によるブルーベリー葉の機能性食品の開発

宮崎大学産学・地域連携センター長 國武 久登

③ 産業防疫体制の構築に向けた

産業動物防疫リサーチセンターの役割 (仮)

宮崎大学農学部獣医学科 教授 三澤 尚明

④ 宮崎の本格焼酎業界を支援する機関としての成果について

宮崎県食品開発センター 所長 水谷 政美

【研修会閉会】 座学研修会は終了。ここで解散します。

平成 30 年 1 月 26 日 (金) (第 3 日)

V 【現地ワークショップ ②】

希望者のみの自由参加とします。

8:00 宮崎駅前集合 バス出発

9:00 ~ 10:00 JA フーズみやざき加工工場視察

10:00 ~ 11:00 バス移動

11:00 ~ 13:30 綾自然蔵見学館・綾酒泉の杜

13:30 綾酒泉の杜出発

15:00 宮崎空港着 解散

15:30 宮崎駅前着 解散

【申込方法】 ホームページからお申し込みください。

期限: 12 月 1 日 (金) ~ 1 月 19 日 (金)

URL: <http://www.jarec.or.jp>

【お問合せ先】

公益財団法人 全日本地域研究交流協会

☎ 03-3831-5911